

平成28年度 事業計画

岡山理科大学専門学校

建築と動物そして水生生物のスペシャリストを養成。学生、保護者、学校、地域、関連業界の皆様へ支持され愛される学校を目指します。



本校は、昨年度開校40周年を迎えました。節目の50周年に向けて、企業・業界団体との連携を軸に、より質の高い教育を目指します。さらに、文部科学省が推進する高度職業実践の高等

教育機関創設という将来展望に対し、柔軟に対処できるよう、将来性を意識した学校運営に取り組んで参ります。

重点施策としては、

1. 業界団体の意見や要望に応え得る人材育成のために、職業人育成に主眼を置き、教育内容の改善を行います。
2. 「職業実践専門課程」を有する学校として、業界団体等が行う技術研修への教員派遣を積極的に進め、教員の資質向上に努めます。
3. より実効性のある教育体制を構築するために、教員組織の改善に取り組みます。
4. 変遷する社会のニーズを真摯に受け入れるべく組織した将来構想検討会議の協議・検討内容を校内組織に浸透していきます。
5. 本校の価値を伝えるという意識を全教職員が共有し、学校ブランディング効果を上げます。

岡山理科大学専門学校 校長 村岡 正

教育の充実

■全学科の「職業実践専門課程」認定に向けて

- (1) トリミング学科とドッグトレーニング学科の再・改編を行い、申請条件をクリアできるよう具体的な取り組みを行います。
- (2) 既存認定学科の更なる教育の質向上に努め、認定効果を広くPRして、学校の存在価値と評価を高めます。

■教育課程の再編

- (1) 全学科の教育課程変更に伴うシラバスの改定を行います。
- (2) 動物看護学科3年制(高度看護医療・臨床検査コース)において、動物医療機関と協力して動物の各種臨床検査の実務教育充実を図ります。

研究の充実

■産官学連携の教育

- (1) 関連団体等主催の各種研修会への教職員派遣を推進し、最新の技術や知識を修得させ、教員個々の研究力向上を図ります。
- (2) 校内倫理委員会を設け、獣医療研究を推進します。

学生支援

■生活支援

- (1) カウンセラーの在校頻度を高め、学生の心のケアサポートに努めます。
- (2) 学校便り（R i S E N通信）を年2回発刊し、保護者へ郵送することで、保護者の学校理解を促進します。

■修学支援

- (1) 資格試験に向けた補講・補習に努めます。
- (2) チューター制を活かした学習相談の充実を図ります。

■就職支援

- (1) 一部の学科にはカリキュラムの中にキャリアデザインを開講し、職業人意識の高揚を図ります。
- (2) インターンシップを促進し、就職のミスマッチをなくすと共に就職の機会を拡大します。
- (3) 卒業生の就職先を訪問し、事業者と卒業生の声に耳を傾け、早期離職者の低減に努めます。

・ 就職活動ガイダンス

1年生	4月	キャリア教育講座 インターンシップ講座(1)(動物看護)
	6月	職業理解と労働法規講座 インターンシップ講座(1)(トリミング、ドッグトレーニング)
	12月	履歴書の書き方講座(1)(アクアリウム)
	1月	履歴書の書き方講座(1)(建築、動物看護、ドッグトレーニング、トリミング) インターンシップ講座(1)(トリミング、アクアリウム)
	2月	合同企業説明会参加マナー講座(1)
2年生	4月	履歴書の書き方講座(2)(建築)面接講座 インターンシップ講座(2)(動物系各学科)
	5月	合同企業説明会参加マナー講座(2) 内定礼状の書き方講座(トリミング)

2年生	6月	内定礼状の書き方講座(建築、動物看護、ドッグトレーニング、アクアリウム)
	7月	合同就職面接会参加マナー講座(3)

■留学生支援

日本語教科書の読解のサポートと日常生活支援に努めます。

社会連携・社会貢献

■地域動物医療への貢献

校内の臨床検査室を充実させ、地域の動物病院からの各種臨床検査要望に応えます。

■地域との交流

地元地域の行事に積極的に参画し、学生によるボランティア活動を推進します。

教育研究環境

■施設の充実

- (1) 学生利用施設の点検・補修に努め、快適な生活環境の充実を図ります。
- (2) 学校入り口の環境美化を実践します。

学生の受入

■受験生との接触機会の拡大

- (1) 資料請求実績の高い地域・高校での進学説明会へ参加し、直接的なPRを行います。
- (2) SNSなどを利用したスマートフォン向けの情報発信を行います。
- (3) 高い就職実績と資格取得率のタイムリーな情報を発信します。
- (4) 社会人学生の受入を推進するために、有効な媒体を精査し活用していきます。

- (5) オープンキャンパスにおいて、在校生を活用した学校PRの強化を目指します。
- (6) 全教職員で広報活動を展開します。
- (7) 志願者動向を踏まえ、募集定員の見直しを行います。

内部質保証

■FD・SD

- (1) 校内教職員研修規定に則り、教職員研修を推進し、教職員の資質向上と人脈の拡張に努めます。
- (2) コンプライアンスの徹底を図ります。
- (3) 本校の価値を測定し、価値を高める施策により、教職員の学校ブランド意識の共有化を図ります。

その他の取組

■効率よい授業展開

授業担当者の見直しを進め、校内の人的資源を有効に配置することで、教育内容の向上に努めます。

主な行事予定

4月8日	入学式
4月9日 11、12日	オリエンテーション（夜間部） オリエンテーション（昼間部）
4月11日 14日	授業開始（夜間部） 授業開始（昼間部）
6月16日	球技大会
7月18日 ～8月21日	夏季休暇 （夜間部 8/1～）
9月5日 ～10日	前期末試験
9月28日	後期授業開始 （夜間部 10/3～）
10月22日 23日	R i s e n 祭
12月24日 ～1月5日	冬期休暇
1月30日 ～2月3日	後期末試験 （夜間部 2/14～18）
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成28年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	49	80	93
	建築学科(夜間部)	20	21	40	42
	福祉住環境デザイン学科 (募集停止)		—	—	—
	計	60	63	120	135
商業実務 専門課程	映像情報学科 (募集停止)		—	—	—
	計	(募集停止)	0	0	0
文化・教養 専門課程	動物看護学科 3年制	30	7	90	27
	" 2年制	20	26	40	46
	トリミング学科	40	24	80	42
	ドッグトレーニング学科	40	22	80	49
	アクアリウム学科	40	38	80	73
	計	170	117	370	237
合計		230	180	490	372
専攻科 研究科	建築学科専攻科	10	12	10	12
	動物系総合学科研究科	10	11	10	11

(単位：人)

■教職員数

(平成28年5月1日現在)

校長	教員	教員 計	
1	12	13	
			事務職員
			12

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	
		28年度 予算額	前年度 決算額
教育活動収支	収入		
	学生生徒等納付金収入	326,059	322,572
	経常費等補助金	250	66
	その他収入	64,660	3,982
	計	390,969	326,620
支出	人件費	297,796	219,248
	教育研究経費	78,594	71,513
	管理経費	33,709	26,053
	その他支出	0	0
計	410,099	316,814	
教育活動収支差額		-19,130	9,806
教活外	収入		
	受取利息等	10	20
	支借入金利息等	0	966
教育活動外収支差額		10	-946
経常収支差額		-19,120	8,860
特別	収入		
	資産売却差額等	0	905
	支資産処分差額等	0	120
特別収支差額		0	785
基本金組入前収支差額		-19,120	9,645
基本金組入額合計		0	-35
当年度収支差額		-19,120	9,611

■施設設備計画

(単位：千円)

事業名	金額
第三校舎2階キャットルーム設置	500